

市長定例会見

令和5年5月16日（火曜日）10時00分～

- 1 三原市における誰一人取り残さない体制整備について
- 2 高校生による「耳にタコができるまち三原」プロジェクトの実施について



三原市における誰一人取り残さない体制整備について

- 1 地域共生社会に向けての課題
- 2 これまでの支援体制と求められる体制
- 3 新たな体制としての地域共生センター
- 4 地域共生社会推進体制と地域共生センターの役割
- 5 地域共生センターの位置づけ
 - ①これまでの姿
 - ②これからの姿
- 6 社会福祉協議会と三原市との新たな連携体制
 - ①ひきこもり相談支援ステーション
 - ②障害のある人の就労応援相談ステーション

1 地域共生社会に向けての課題

地域共生社会の実現をめざすうえで見えてきたこと

核家族化, ひとり親世帯,
高齢者のみ世帯, 一人
暮らし高齢者が増加



家族間や地域でのつながり
の希薄化, 社会的孤立な
どの課題



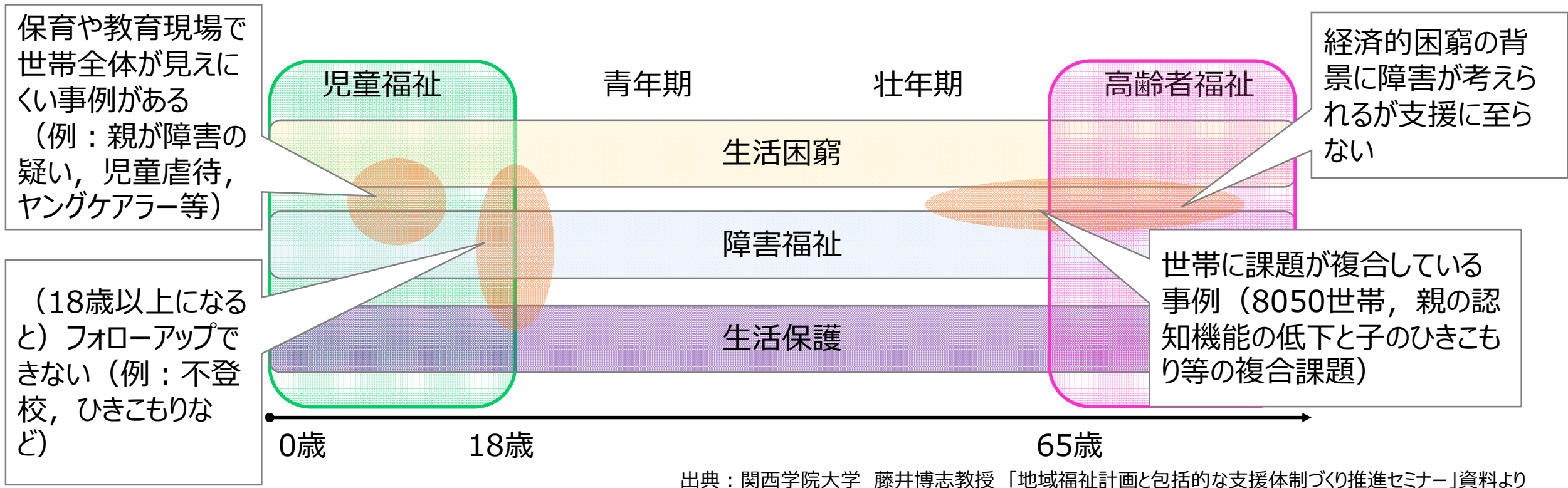
複合的な課題や公的サービスの
狭間といった課題を抱える世
帯の増加

いろいろな
悩みがある
多様化

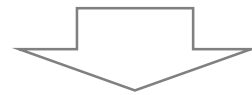


どこに相談したら
いいの?
複雑化

2 これまでの支援体制と求められる体制

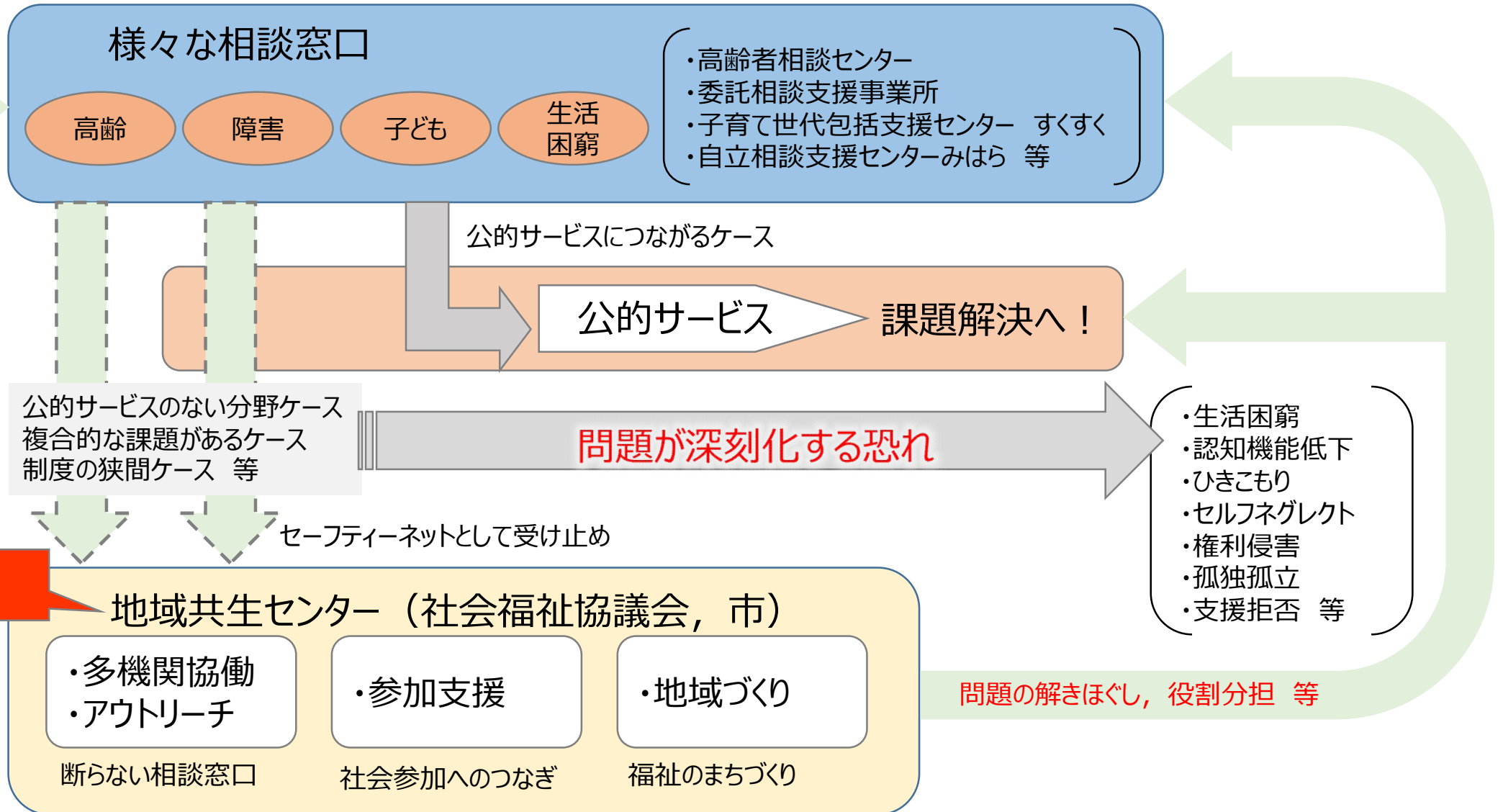


複合する課題がある場合、分野別の制度だけでは課題解決につながらない場合が多い

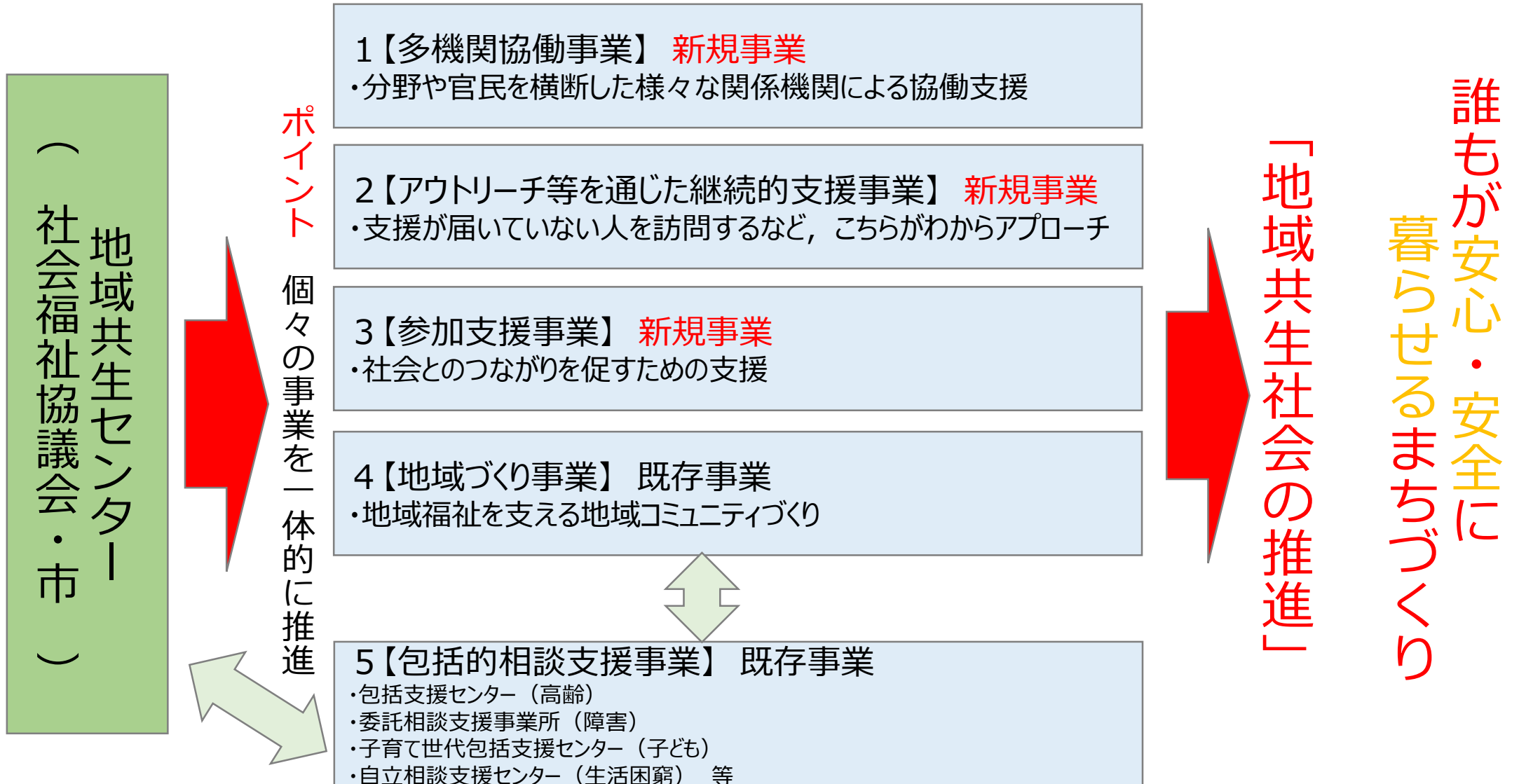


分野を超えて「丸ごと」つながり、地域を共に創っていく地域共生社会の実現が求められている

3 新たな体制としての地域共生センター

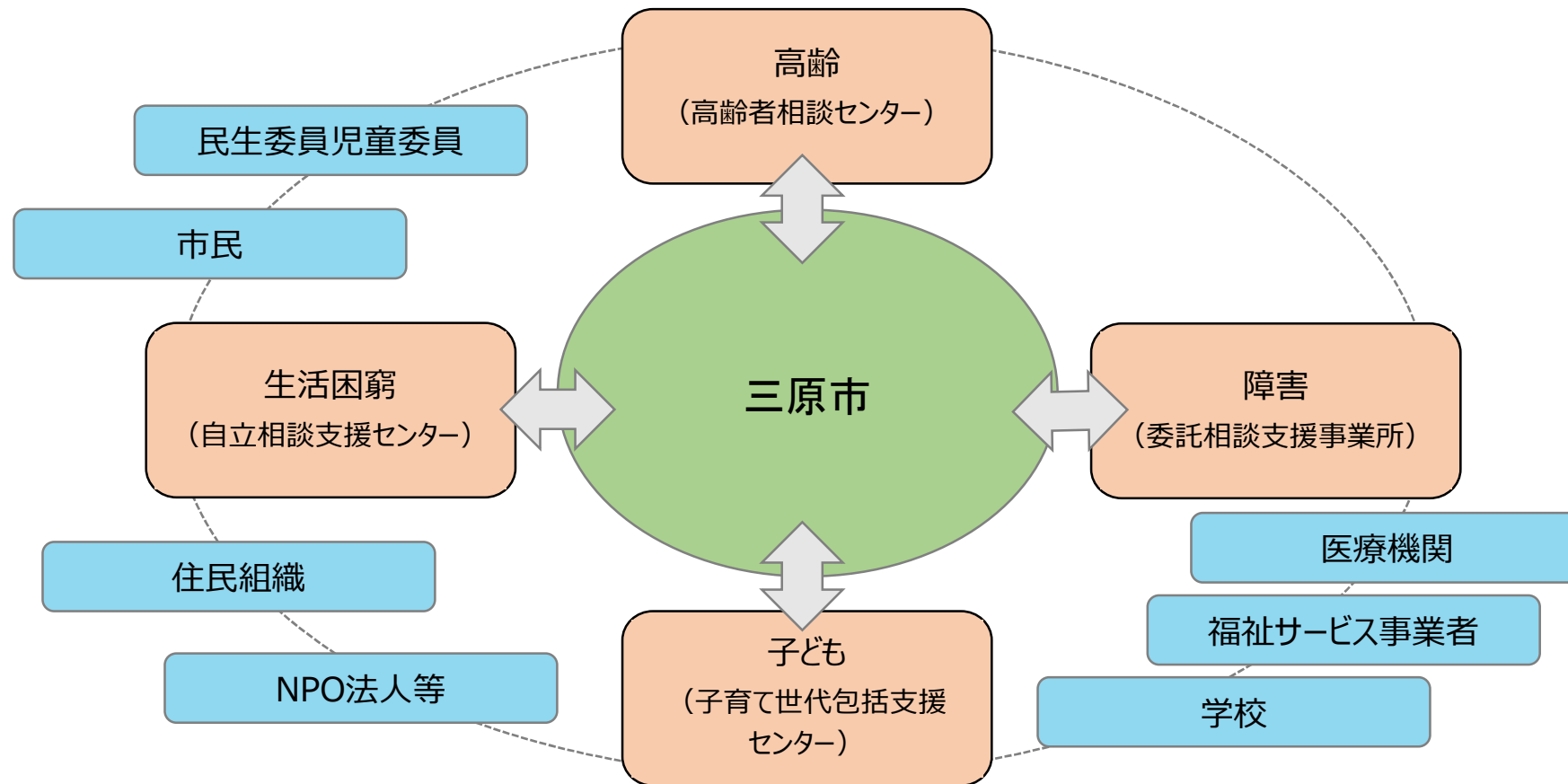


4 地域共生社会推進体制と地域共生センターの役割



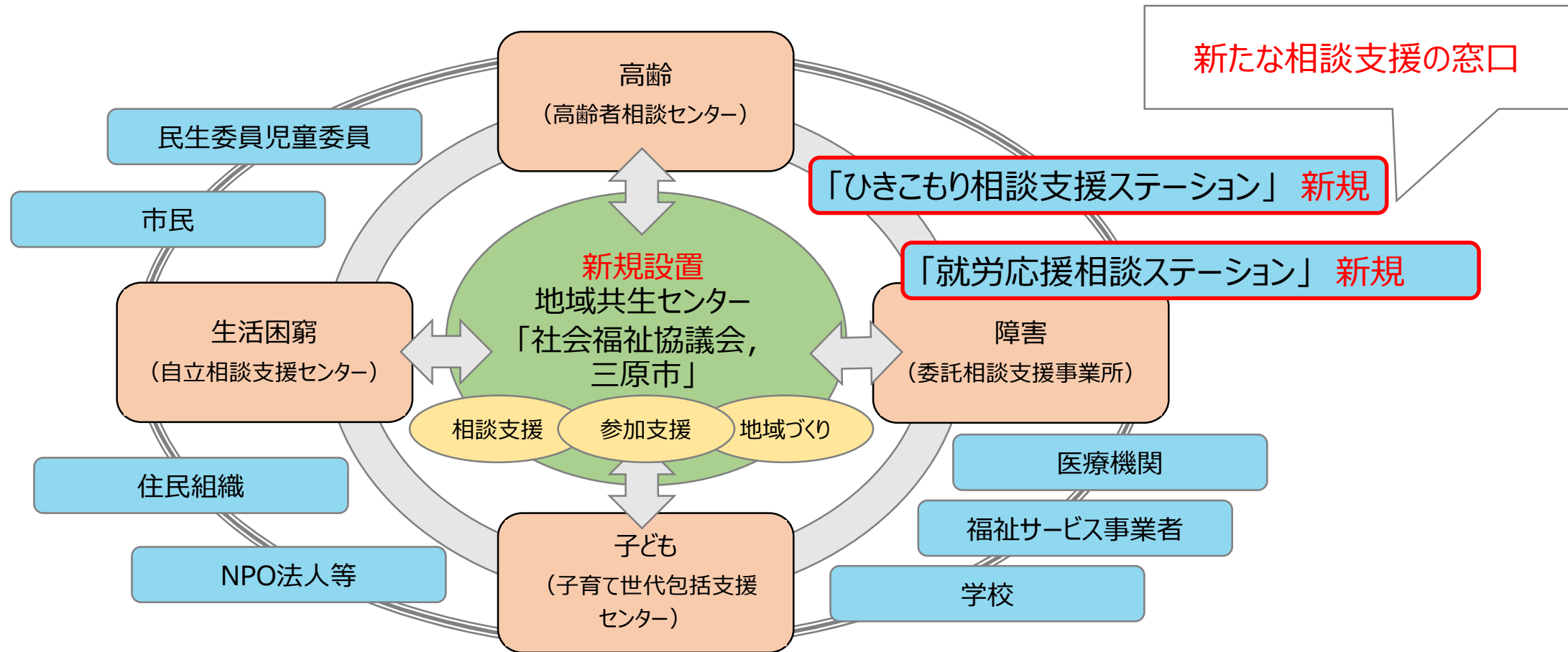
5 地域共生センターの位置づけ ①これまでの姿

個別ケースごとに必要に応じた関係機関とのつなぎ



5 地域共生センターの位置づけ ②これからの姿

既存の福祉制度と地域福祉の蓄積を踏まえて体制づくりを再設計



6 社会福祉協議会と三原市との新たな連携体制

地域共生センターを中心に、各種事業を社会福祉協議会と三原市が一体的に取り組むことで、事業間連携のほか、ノウハウやネットワークを共有し、効率的な事業推進と成果向上を促進

三原市		社会福祉協議会
様々な市民の権利擁護	地域共生センター (社会福祉協議会 (福祉支援課) 三原市 (社会福祉課))	権利擁護連携支援センター
高齢者を中心とした生活支援体制の整備		地域福祉活動・生活支援コーディネーター
生活困窮者の自立促進		自立相談支援センターみはら
ひきこもり支援		ひきこもり相談支援ステーション
障害者の自立支援		障害者生活支援センター
障害者の就労支援		就労応援相談ステーション
ボランティア団体や人材育成		ボランティア・市民活動サポートセンター

地域共生センターを中心に三原市の福祉総合力を底上げ！

市民の相談は既存の各種相談窓口で受け付け，困難な課題は地域共生センターに集め，個別対応していきます。

まずは身近な
窓口相談



高齢者分野	高齢者相談センター 5カ所（どりいむ，三恵苑，三原市医師会，大空，はーもにー）
障害者分野	委託の相談支援事業所 2カ所（ドリームキャッチャー，さ・ポート）
子ども分野	子育て世代包括支援センター 1カ所（すくすく）
生活困窮分野	自立相談支援センター 1カ所（みはら）

複合，複雑な
課題があり，対
応が困難なケー
ス

地域共生センター

場所：
三原市城町1丁目2-1
サン・シープラザ4階
連絡先：
0848-67-4568
e-mail：
kyousei@m-shakyo.jp



地域共生センターを中心に三原市の福祉総合力を底上げ！

内容に応じて適切なところにつながる相談支援体制

- どんな課題でも支援機関が横連携し対応
- 課題のある人にこちらからアプローチ
- 孤立に対しては、その人が参加できる場所につなぐ
- 早期に課題を発見し解決へとつながる、地域づくりを推進



誰一人取り残されない、安心して暮らせる地域共生社会の実現と、
多様な人々の参画と活躍を後押しします！

① ひきこもり相談支援ステーションの設置

精神保健福祉士や臨床心理士などの専門職が対応します。

ひきこもりとは？

仕事や学校に行かず、
家族以外と交流が
ない「状態」のことを
言います。

相談の他に・・・

居場所の設置，家族の集い，住民向け講演会を行います。

場 所：三原市城町1丁目2-1 サン・シープラザ4階

連絡先：0848-36-6250

e-mail：hikikomori-st@m-shakyo.jp

誰が相談できるの？

ひきこもりで悩む本人，
または，その家族
(市内在住で概ね18歳～
64歳までの人)

相談方法は？

電話，来所(要予約)，
メール，訪問



一人で悩まず，
まずは，お話を
聞かせてください。

② 就労応援相談ステーションの設置

障害のある人の「働きたい」気持ちを応援します。一人ひとりの能力や経験，特性を考慮し，無理なく働ける企業の紹介やフォローを行います。職場見学や就労活動に必要な準備も支援機関などと一緒に取り組み，全面的にサポートします。

どんな相談ができる？

就職のサポート，無理なく自分にあった働き方や就職後のフォローなど

誰が相談できるの？

障害のある人本人，また，その家族（手帳の有無は問わない）

相談方法は？

電話，来所，メールなど

場 所：三原市城町1丁目2-1 サン・シープラザ3階
ドリームキャッチャー内
連絡先：0848-63-3319
e-mail：shuurououen-st@m-shakyo.jp



不安や困ったことに対して全面的にサポートします。長く続けられる仕事を一緒に見つけましょう。

全国初!?

令和5年度三原PR動画制作・発信「耳にタコができるまち三原」プロジェクト 市内高校5校が三原の認知度向上に挑戦します!!

三原市では、シティプロモーションの取組として、令和2年度から三原高等学校の生徒と三原をPRする動画を制作・発信する「耳にタコができるまち三原」プロジェクトに取り組んでいます。今年度は、この取組を市内高等学校5校に拡充し、生徒たちがコンテスト形式で動画の視聴回数などを競い合いながら三原のPRに取り組みます。

1 プロジェクトの目的・成果

① 三原を知ってもらう → 認知・関心度の向上、ふるさと納税の獲得

「認知度が低い」という三原市の課題を解決するため、高校生の発想により「三原らしさ」がPRでき、多くの人の興味を引く動画を制作・発信する。

② 高校生への「学び」を提供 → 高校生の能力開発・シビックプライドの醸成

動画の制作・発信を通じて、高校生が「表現力」「論理的思考力」「課題解決力」など様々な力を習得する。また、本プロジェクトでの体験から生徒たちのまちへの愛着や誇りを醸成する。

③ 本プロジェクトのブランド化 → 本プロジェクトを通じた効果的な魅力発信

参加生徒の満足感や達成感を醸成するなど、本プロジェクトを充実させることで、次年度以降も継続し、三原のブランドとして、強力なプロモーションツールにする。

2 参加高校

三原高校
2年生 12人

参加4年目の熱い思いを動画に込めて「三原の魅力を伝えたい!」今年もやる気あふれる生徒が集まりました!

三原東高校
生徒会から4人

『挑戦・不屈・貢献』を校訓とし何事にも全力で努力する学生たちがPR動画制作に挑みます!

総合技術高校
2年生 6人

県内でも珍しい複合型専門高校で、多くのスペシャリストのタマゴたちがこのプロジェクトに挑戦します!!

三原市内の
高校5校!!

総勢!!
30人!

如水館高校
校内募集6人

如水館で 生きて 華やぐーそして流れる水となる 三原への溢れる思いをこのプロジェクトを通じて伝えたい!

広島三育学院
メディア部2人

世界で活躍できる人材を育てる! 全国から三原に集まる全寮制高校の生徒たちが外からの目線で三原をPRします!

動画を制作・発信!!

① 認知度向上

② 高校生の能力開発・シビックプライドの醸成

③ 本プロジェクトのブランド化

【問い合わせ先】広報戦略課 課長 今川 潤(いまがわ じゅん)

シティプロモーション推進係長 三信 裕司(さんのぶ ゆうじ)

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

TEL0848・67・6007(直通) FAX0848・64・7101

3 スケジュール

5月	5月31日(水) キックオフイベントの開催
6月	動画制作に必要な基礎的知識等についての研修
7月	高校生による三原をPRする動画の企画・制作 ★専門家から動画のブラッシュアップについてフィードバック
8月	動画公開①
9月	高校生による三原をPRする動画の企画・制作 ★専門家から動画のブラッシュアップについてフィードバック
10月	動画公開②
11月	高校生による三原をPRする動画の企画・制作 ★専門家から動画のブラッシュアップについてフィードバック
12月	動画公開③
3月	各学校の動画内容や視聴回数等を審査、発表会・表彰式の開催



4 キックオフイベント

日 時	5月31日(水)17時30分～18時30分
場 所	三原市役所 8階 801会議室
内 容	参加生徒を一同に集めたイベント ①本プロジェクトの経緯・目的・スケジュール等の説明 ②課題解決方法を学ぶためのワークショップの実施 など



【ワークショップの目的】

三原市の課題である「認知度向上」に取り組むことを生徒たちと共有するため、「キミたちのアイデアで三原を有名にして欲しい!」というメッセージを伝え、この課題を動画により解決する方法を、「自分ゴト」として考え、どのように行動するかの意識づくりを行う。

【これまでに制作した動画が全国的なコンテストで受賞!!】

(一財)地域活性化センターが主催する「地域プロモーションアワード2022」で、令和2年度にシティプロモーションの取組として三原高校の生徒と制作した三原PR動画「三原JKの浪漫」が、応募作品136作品の中から、審査委員長賞を受賞しました!



■市公式 YouTube



三原市公式チャンネル
@user-zr8nj6rg7y
チャンネル登録者数 1660人



■高校生プロジェクト

TikTok (1hara2hara.iya.mihara)

広島県三原市の高校生



【問い合わせ先】広報戦略課 課長 今川 潤(いまがわ じゅん)
シティプロモーション推進係長 三信 裕司(さんのぶ ゆうじ)
〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号
TEL0848・67・6007(直通) FAX0848・64・7101